

## 泉大津市のごみの現状を知ろう！！

### ○ ごみの処理

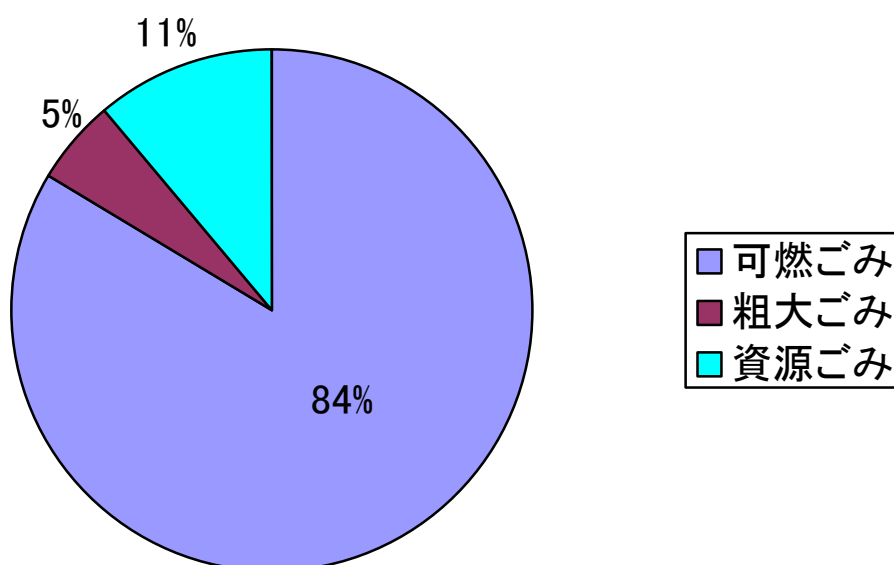
泉大津市から排出されるごみは、和泉市にある泉北環境整備施設組合で、泉大津市・和泉市・高石市の3市で共同処理しています。

### ○ 泉大津市の総ごみ量の推移

(単位：トン)

年 度	総 量	可燃ごみ	粗大ごみ	資源ごみ
平成 21 年度	26,756	24,085	1,040	1,631
令和元年度	24,050	20,111	1,434	2,505
令和 2 年度	22,804	19,064	1,230	2,510

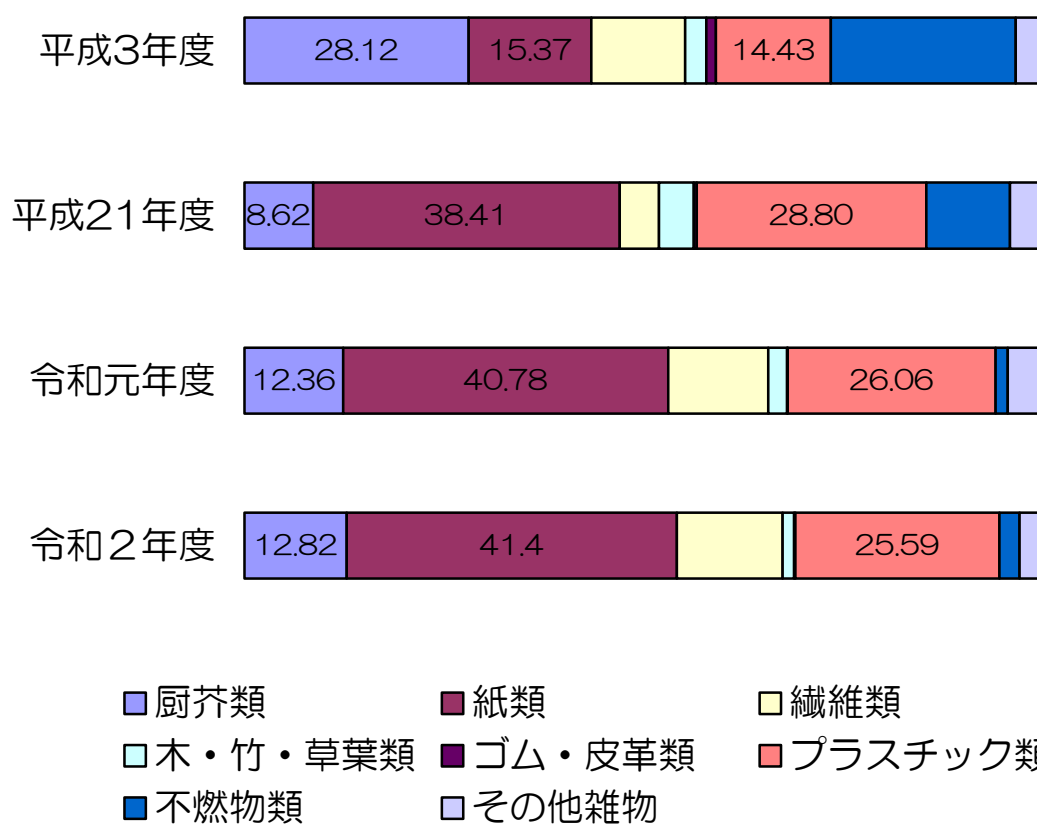
### ○ 1年間に排出されたごみの内訳（令和2年度）



## ○ 家庭系可燃ごみ量の推移

平成21年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
14,374トン	10,618トン	10,551トン	10,675トン

## ○ 家庭系可燃ごみの組成割合



年4回実施している組成分析検査において、パッカー車のごみを検査し、どのような種類のごみがどのくらい含まれているのか、実際に中身の分析を行っています。

平成3年度は、厨芥類（台所から出る生ごみ等）が一番多くみられました。

近年は容器包装プラスチックの分別の影響もあり、家庭系可燃ごみ量は減少傾向にあります。その組成の中では紙類が一番多く含まれ、全体の約4割で推移しています。

## ○ ごみの処理経費（分担金）

泉大津市から**泉北環境整備施設組合**にごみの処理経費として分担金を支払っています。

分担金は、ごみの搬入量に応じて支払う額が変わります。  
ごみの搬入量を減らせば、多額の経費を節減できます。

## ○ ごみの処理経費の推移

（単位：百万円）

区 分	平成21年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
委託料	450	455	472	480	485	503	532
分担金	763	431	336	322	232	187	211
合 計	1,213	886	808	802	717	690	743

※ 委託料には、ごみ収集運搬費、粗大ごみ受付関係経費及びリサイクルに係る諸経費を含んでいます。

## ○ 生ごみの水切りについて

**生ごみの80%は水分です。**生ごみの水切りを行っていただくことで、ごみの減量や腐敗、悪臭を防ぐことができます。また、焼却する施設で効率よく焼却できます。

1人1日100gの重量を減量できれば、**1年間で約2,700トンの減量が可能です。**焼却施設への搬入量が減ることで、**泉北環境整備施設組合**に支払う分担金の節減につながります。

## ○ ごみの分別と減量について

ごみの処理には、多額の経費がかかっています。

ごみの量を減らせばごみ処理にかかる分担金を減らすことができます。

ごみ減量の第一歩として、可燃ごみに約4割含まれている**「紙ごみ」**の分別を徹底することで、ごみの排出量を大幅に削減することができます。

POINT

「紙ごみの分別を極める!!」

## ○ 雑がみを資源として分別をしましょう!!



### 日常生活からたくさん出る雑がみ

- テッシュペーパーの箱、お菓子や食品の箱、包装紙、封筒類（個人情報を除いてください）
- トイレットペーパー、ラップの芯
- メモ用紙（名刺サイズ以上）
- チラシ類

※ティッシュペーパーの箱のビニール部分や封筒のセロハンは可燃ごみになります。

市の「資源ごみの日」にも「古紙」の収集があります。

資源ごみの日でも集団回収の日でも古紙がリサイクルされることには変わりありませんが、雑がみ類などを集団回収に出していただくことで、自治会や子ども会等の集団回収実施団体への助成金が増額し、地域で活用できる活動経費が増え非常に有効です。

## ○ 有価物集団回収助成金交付事業について

現在、約110団体が活動しています。

本事業では、新聞紙・雑誌（雑がみを含む）・段ボール・紙パック・古着類の5品目を、リサイクルできる資源として回収しています。

有価物集団回収実施団体に、助成金(7円/kg)を交付しています。この助成金は、子供会や自治会の活動経費として、活用されています。

※只今、新規登録団体募集中！！